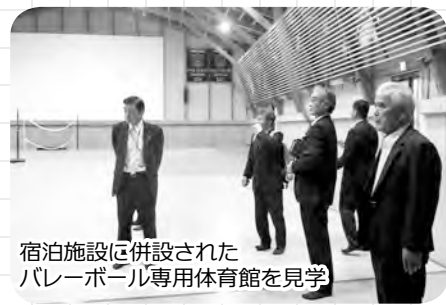


産業建設⑤



宿泊施設に併設されたバレーボール専用体育館を見学

市民厚生④



電子連絡帳などの説明を受ける(清須市)

総務文教③



ボランティアガイドから被害状況を聞く

総務文教②



被害が大きい熊本城

総務文教①



復興状況を視察(熊本市)

産業建設⑥



縮尺50分の1の大河津分水路河口部の水利模型について説明を聞く

産業建設⑦



膜ろ過施設を視察

議会運営⑧



亀岡市議会の議場を視察

議会運営⑨



議会改革の説明を受ける(大阪狭山市議会)



# 見聞

視察レポート

燕市議会の3常任委員会と議会運営委員会では、毎年視察を行っています。各委員長より、その内容について報告いたします。

### 総務文教常任委員会

福岡県糸島市では、「糸島ブランドのシティーセールスの取り組み」について視察した。市の総合計画に「いとしまブランド」を位置づけ、ブランド推進係を新設。漁協と女子高生が「ラブシ企画」PRをした農畜産物が注目されるなど、地域性を利用したマーケティングとセールスに積極的な取り組みを展開している。

熊本県熊本市(写真①②③)では、平成28年4月に発生した熊本地震の被災状況と復興状況についてを目的に熊本市役所を訪れ、被害状況や震災発生当時の状況について説明を受けた。行政による防災・減災対策は重要であるが、地域の自主防災組織の協力があつたところでは、避難者の把握や支援物資の配給などが比較的にスムーズに行えたとのこと。視察を通じ、改めて地域住民による自主防災組織の重要性を感じた。また、自治体と民間事業者、さらには自治体同士で締結されている「災害時応援協定」の大切さを痛感した。

### 市民厚生常任委員会

愛知県名古屋市の「名古屋児童を虐待から守る条例」が議員提案により成立。多くの課題を抱えながらも、子どもの虐待の保護・支援に力を入れている。虐待による相談件数は年々増加し、平成28年度中の児童虐待相談件数は過去最多になったという。

埼玉県ふじみ野市では、外国人や障がい者対応のタブレットの利用について視察。聴覚障害の方とうまくコミュニケーションを取るため、支援アプリを利用している。災害時に利用できるように開設訓練等も行っているという。



タブレット等の利用状況を聞く(ふじみ野市)

### 産業建設常任委員会

岩手県紫波町(写真⑤)では「オガールプロジェクト」を視察。このプロジェクトは紫波中央駅前都市整備事業で、役場をはじめ図書館と産直やカフェがひとつになった官民複合施設や保育園、バレーボール専用体育館などが整備され、人々の交流拠点となっている。国土技術政策総合研究所(写真⑥)では、縮尺50分の1の大河津分水路河口部の水利模型があり、河川の崩壊理論と護岸の重要性を示すモデルを視察した。改めて洪水等の自然災害を防ぐ方法への鍵を見出すべく、国を挙げての研究・実験が試されていることを再認識し感動的であった。できれば燕市に水利模型をつくり、完成後に治水・利水・環境等の調和した、市民に親しまれる河川三公園として残す取り組みがなされればと思った。

### 議会運営委員会

議会の活性化、市民に開かれた議会等、議会改革の必要を感じ、他自治体を視察した。京都府亀岡市(写真⑧)では、議会改革推進特別委員会等設置して、政治倫理条例制定・本会議の休日開催・わがまちトーク・事務事業評価等を実施し改革を進めている。大阪府大阪狭山市(写真⑨)では、通年議会子ども議会・議会報告会等を開催して改革に取り組んでいた。



埼玉県深谷市(写真⑦)では、川本浄水場に膜ろ過の設備を視察、見学した。安全な水運用と汚泥処分費などの削減が見込まれるとのことであった。

大阪府茨木市では、議会改革推進委員会を設置して、議会基本条例制定・市議会と立命館大学との相互の連携協定・議員間討議の設定等実施し改革に取り組んでいた。今回の視察を通して燕市議会も改革を断行し、議会の活性化を実現したい。

委員会と視察日	視察地	目的
産業建設常任委員会 (10月10日~12日)	岩手県紫波町 (オガール株式会社)	「オガールプロジェクト」について
	茨城県つくば市 (国土技術政策総合研究所)	「大河津分水路改修模型」について
	埼玉県深谷市 (川本浄水場)	「浄水施設の膜ろ過」について
議会運営委員会 (11月7日~9日)	大阪府大阪狭山市	「議会改革」について
	京都府亀岡市	「議会改革・議会活性化」について
	大阪府茨木市	「議会運営・議会改革」について

委員会と視察日	視察地	目的
総務文教常任委員会 (7月11日~13日)	福岡県糸島市	「シティーセールスの取り組み」について
	熊本県熊本市	「熊本地震の概要」について
	佐賀県佐賀市 (佐賀女子短期大学)	「いじめ対策と生と死を考える授業」について
市民厚生常任委員会 (10月18日~20日)	愛知県名古屋市	「子どもの虐待を未然に防ぐための取り組み」について
	愛知県清須市	「きよすレインボーネット」について
	埼玉県ふじみ野市	「外国人、障害者対応のタブレット配置」について

燕市議会には、総務文教・市民厚生・産業建設の3つの常任委員会があり、委員の任期2年、定数はそれぞれ8人です。本会議で提出された議案や請願は、担当(所管)する委員会で詳しく審査します。議会運営委員会は、円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・審査をし、意見調整などを行います。委員の任期は2年、定数は8人です。